

## 議決権行使レポート

証券コード 6368

会社名 オルガノ

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件			
1) 期末配当に関する事項	○		
2) その他の剰余金の処分に関する事項	○		
第2号議案 取締役9名選任の件			
山田 正幸 氏	○		
中山 泰利 氏	○		
須田 信良 氏	○		
本田 哲之 氏	○		
照井 恵光 氏	○		
平井 憲次 氏	○		
和田 守史 氏	○		
安部 大作 氏	○		
花野 信子 氏	○		
第3号議案 監査役3名選任の件			
田實 嘉宏 氏	○		
樋口 達 氏	○		
児玉 弘仁 氏	○		
第4号議案 補欠監査役2名選任の件			
明賀 春樹 氏		○	
南木 みお 氏	○		
第5号議案 社外取締役の報酬額改定の件		○	

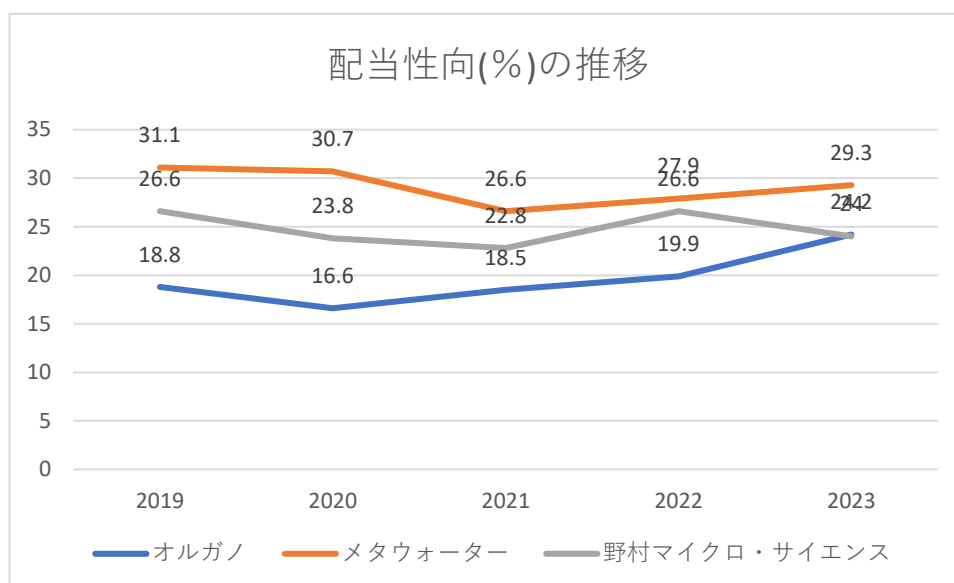
### 上記の推奨をした理由

#### 第1号議案 剰余金の処分の件

##### 1) 期末配当に関する事項

オルガノ株式会社と、その同業他社であるメタウォーター株式会社、野村マイクロ・サイエンス株式会社の配当性向を比較し、下のグラフにまとめた。グラフから分かるように、オルガノの配当性向は業界内で比較的低いが、2020年以降徐々に

上がっている。そのため、今後さらに上がることが望ましいが、着実に改善している点で評価し賛成する。



2) その他の剰余金の処分に関する事項

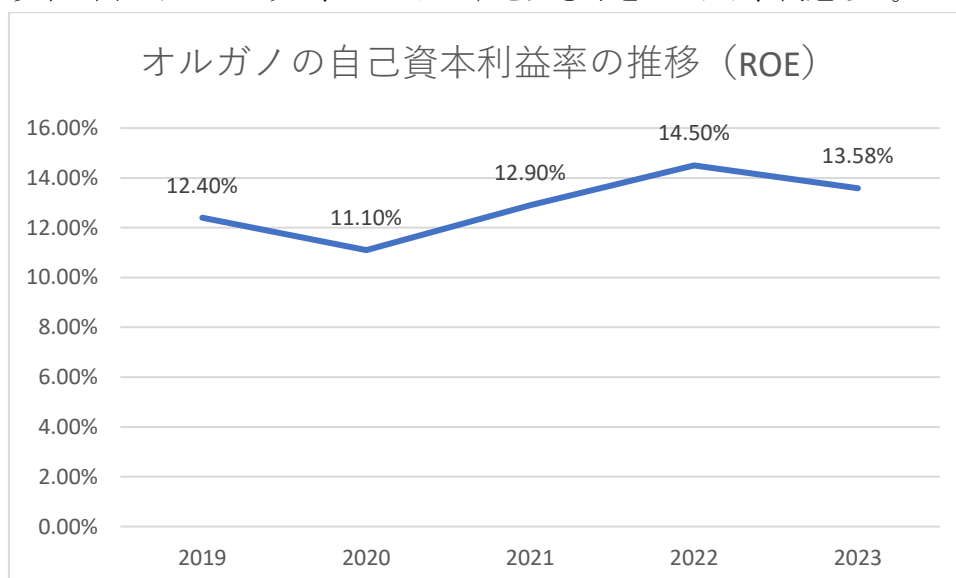
期末配当に関する事項と同様の理由で賛成する。

第2号議案 取締役9名選任の件

まず以下のISSの基準（監査役設置会社）に従って問題点がないかどうかを検証する。

- 資本生産性が低く（過去5期平均の自己資本利益率[ROE]が5%を下回り）かつ改善傾向にない場合

→以下の図に示したように、ROEは5%を大きく超えており、問題ない。



- いわゆる政策保有株式の過度な保有が認められる場合（政策保有株式の保有額 10 が純資産の 20%以上の場合）  
→0.73%であるので問題ない。<sup>1</sup>
- 株主総会後の取締役会に占める社外取締役の割合が 3 分 1 未満の場合、または社外取締役が 2 名未満の場合  
→取締役 9 名中 5 名が社外であるため問題ない。
- 株主総会後の取締役会に女性取締役が一人もいない場合  
→女性取締役が 1 人いるため問題ない。
- 親会社や支配株主を持つ会社において、株主総会後の取締役会に占める ISS の独立性基準を満たす社外取締役の割合が 3 分の 1 未満の場合、または ISS の独立性基準を満たす社外取締役が 2 名未満の場合  
→社外取締役の 5 名は独立性が確保できているため問題ない。
- 前会計年度における取締役会の出席率が 75%未満の社外取締役  
→再任の社外取締役 2 名は、共に出席率が 90%以上であるため問題ない。

次に取締役候補を 1 名ずつ検証する。

1. 山田 正幸 氏

山田氏は 2019 年からの 4 年間にわたってオルガノの取締役を務めているが、この 4 年間でオルガノの売上高は増え続けている。そして、当期純利益に関しては 2021 年にはわずかな減少がみられたものの、それは山田氏個人に責任があるものではなく、また、その後回復し増加傾向にある。以上より山田氏には更なる業績向上を期待することができるため、再任に賛成する。

2. 中山 泰利 氏

中山氏は過去 5 年間にわたって取締役を務めており、オルガノの業績向上に貢献していると考えられるため、山田氏と同様の理由で今後の活躍が期待できる。また、1984 年にオルガノに入社して以降、海外子会社の社長などを経験し約 40 年にわたってオルガノに勤めているため、オルガノについてよく理解している人材である点でも、再任に賛成する。

3. 須田 信良 氏

中山氏は過去 4 年間にわたって取締役を務めており、オルガノの業績向上に貢献していると考えられるため、山田氏と同様の理由で今後の活躍が期待できる。また、中山氏と同様に 1984 年にオルガノに入社して以降、海外子会社の社長などを経験し約 40 年にわたってオルガノに勤めているため、同じ理由で再任に賛成する。

---

<sup>1</sup> [オルガノ【6368】の大株主と資本異動情報 | 株探 \(かぶたん\) \(kabutan.jp\)](#)(参照：2023 年 6 月 27 日)

4. 本田 哲之 氏

本田氏の取締役在任年数は2年と他の再任候補に比べて短いものの、1986年からオルガノに勤め、海外子会社の社長も経験しているため中山氏と同様の理由で再任に賛成する。

5. 照井 恵光 氏

照井氏は取締役在任年数が7年と、9名の候補の中で最も長く、社外取締役でありながらオルガノを深く理解していると考えられる。また、経済産業省での勤務経験もありリーダーシップを持った人材としての活躍が期待できるため再任に賛成する。

6. 平井 憲次 氏

平井氏は過去4年間にわたってオルガノの社外取締役を務めている。また、公益財団法人相模中央化学研究所の副理事長・所長としてバイオテクノロジーの開発などで優れた功績を挙げると同時に、組織の管理運営も経験しており、取締役としての活躍も期待できるため再任に賛成する。

7. 和田 守史 氏

和田氏は医薬品を扱う栄研化学株式会社に45年間勤め、現在は取締役会長である。長年企業経営を担ってきた経験から、オルガノでも取締役としての活躍が期待できるため、選任に賛成する。

8. 安部 大作 氏

安部氏はみずほフィナンシャルグループの役員や、他の上場企業の社外取締役等の経験が豊富であり、金融や経営の豊かな知識と経験を生かしてオルガノの取締役として活躍することが期待できるため、選任に賛成する。

9. 花野 信子 氏

花野氏はコンサルティング、弁護士としての活動、他の上場企業の監査等、様々な経験を有しており、オルガノの社外取締役として活躍が期待できるため選任に賛成する。また、9名の中で唯一の女性であることや、最年少であることは、取締役会の多様性という面で良い影響を与えると考えられる。

第3号議案 監査役3名選任の件

1. 田實 嘉宏 氏

田實氏はオルガノを連結子会社に持つ東ソー株式会社において財務部門を担当したのち、東ソーの監査室長を務めるなど、監査に必要な知識や経験を有しているため、オルガノの監査機能を高めることが期待でき、選任に賛成する。

2. 樋口 達 氏

樋口氏は弁護士と公認会計士の資格を有し、他の上場企業の社外取締役(監査等委員)の経験もあるため、法務、財務、会計に関する知識や経験を備えており、オルガ

ノの監査機能を高めることが期待でき、選任に賛成する。

3. 児玉 弘仁 氏

児玉氏は大手食品メーカーであるカゴメ株式会社で経営と監査業務を担ってきたほか、他の上場企業の社外取締役(監査等委員)としての経験も有しているため、オルガノの監査機能を高めることが期待でき、選任に賛成する。

第4号議案 補欠監査役2名選任の件

1. 明賀 春樹 氏

明賀氏は1978年にオルガノに入社して以降、企業経営を担うとともに、排水処理技術等の技術開発にかかわってきた。オルガノでの勤務年数は長いものの、監査の経験がなく、補欠監査役にはふさわしくないと考えられるため選任に反対する。

2. 南木 みお 氏

南木氏は検事として働き企業法務に関する知識を身に着けたうえで、現在は弁護士として法律事務所に勤めるほか、他の上場企業の社外役員も務めている。そのため、監査に必要な知識と経験を有していると考えられ、選任に賛成する。

第5号議案 社外取締役の報酬額改定件

デロイトトーマツグループによる『役員報酬サーベイ(2022年度版)』の結果によると、プライム上場企業における社外取締役の報酬総額水準は、中央値で840万円である。今回、社外取締役分の報酬額を年額9000万円以内とすると一人当たり平均1800万であり、中央値2倍以上となる。社外取締役は独立性を保つべき立場であることを考え、報酬の増額には反対する。

参考文献

- ・オルガノ株式会社 第78回定時株主総会招集ご通知 [230606\\_2023meeting.pdf \(organo.co.jp\)](#)
- ・オルガノ株式会社 決算短信 2023年3月期 [Xv9L.pdf \(irpocket.com\)](#)
- ・オルガノ株式会社 HP [財務データ | オルガノ株式会社 \(organo.co.jp\)](#)
- ・ISS 2023年版日本向け議決権行使助言基準 [Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf](#)
- ・[オルガノ【6368】の大株主と資本異動情報 | 株探 \(かぶたん\) \(kabutan.jp\)](#)

全て最終参照日は2023年6月27日